

淵野辺公園・樹林広場を“想造”しよう

そとどう

かせ こどいで
～風っ子砦リニューアル～

リニューアル
する遊具案
決定！

淵野辺公園の樹林広場は、樹木に囲まれ、公園を訪れる人たちの憩いの場であり、週末には多くの家族連れが遊びに来る特徴的な遊具がいくつもあります。その中にあり、30年以上親しまれている大型の木製遊具「風っ子砦」は、木材の老朽化が進み、早期のリニューアルが必要です。

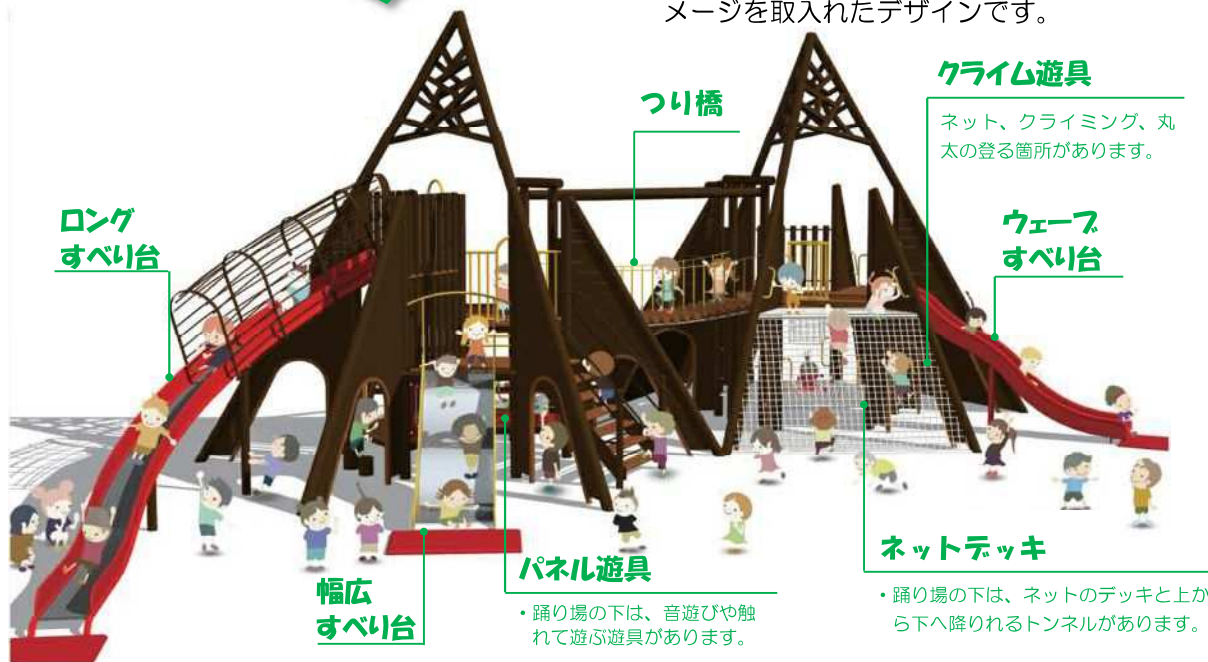
そこで「風っ子砦」のリニューアルの機会に合わせて、樹林広場の今とこれからを市民の皆さんとともに考えていく場として、平成30年度にワークショップを開催しました。今年度は、現地にてオープンハウスアンケート調査を実施し、リニューアルする風っ子砦の遊具案を決定しました。オープンハウスアンケートの概要は3ページをご覧ください。



現在の風っ子砦




リニューアルする
風っ子砦の遊具案が
決まりました！！

- この遊具案はワークショップのご意見が多かった木製の遊具であること、また、現在の風っ子砦のイメージを取入れたデザインです。



リニューアルする遊具案は、これまでいただいた意見を参考に遊具案を3案提示し、オープンハウスアンケートとワークショップ参加者などを対象としたアンケートの結果を参考とさせていただき、「遊具選定の評価項目（「淵野辺公園ワークショップ第3報」を参照）」をもとに決定しました。今後はいただいたご意見を参考に上図の遊具案をフラッシュアップし、リニューアルを進めていく予定です。くわしくは2ページをご覧ください。

各遊具案の評価

<p>評価項目</p>			
<p>①利用者の多様性</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児から大人まで、また、障がいの有無等によらず楽しめるか だれもが容易に利用できるか 	<p>障がいのある子どもや幼児でも遊べるよう配慮されている(ゆとりのある階段・すべり台など)。</p>	<p>障がいのある子どもや幼児でも遊べるよう配慮されている(車いすでもアクセスできる遊具など)。</p>	<p>障がいのある子どもや幼児でも遊べるよう配慮されている(車いすでもアクセスできる遊具など)。</p>
<p>②遊びのバリエーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの多様な感覚を刺激する遊びができる仕掛けが複合しているか 	<p>異なるタイプのすべり台、クライミング、トンネルなどがあるものの、遊びの要素がやや少ない。</p>	<p>複数の遊びの要素を組合わせている(異なるタイプのすべり台・クライミング、つり橋、ネットなど)。</p>	<p>複数の遊びの要素を組合わせている(異なるタイプのすべり台・クライミング、パネル遊具、砂場など)。</p>
<p>③遊びの自由度</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが自ら遊びを作り出す余地があるか 	<p>シンプルな構造のため、子どもが自ら遊びをつくり出す余地がある。</p>	<p>複数の機能を組み合わせることで、子どもが自ら遊びをつくり出す余地がある。</p>	<p>遊び方が限定されない遊具(デッキの遊具・砂場)が配置されている。</p>
<p>④チャレンジ度</p> <ul style="list-style-type: none"> 冒険心や達成感を満たすことができるか 	<p>遊びの要素に難易度をつけており、冒険心や達成感を満たすことができる要素がある。</p>	<p>遊びの要素に難易度をつけており、冒険心や達成感を満たすことができる要素が多種多様である。</p>	<p>遊びの要素に難易度をつけており、冒険心や達成感を満たすことができる要素がある。</p>
<p>⑤シンボル性</p> <ul style="list-style-type: none"> 広場の中心となるようなシンボリックな造形か 話題性がでるような遊びができるか 	<p>素材・形状とも特徴的なため話題性はあるが、平面・高さのボリュームがやや劣る。</p>	<p>遊具として最も高さがあり、樹林広場の中心にふさわしい造形である。</p>	<p>複数の遊具を配置することにより平面的なボリュームはあるが、造形的な印象はやや低い。</p>
<p>⑥オリジナル性</p> <ul style="list-style-type: none"> 周辺や他の公園にはない特徴や魅力を持ち、市域全体としての公園機能の向上につながっているか 	<p>樹林広場にあることから切株に見たてている。職人の手作業のため淵野辺公園にしかないオリジナル作品である。</p>	<p>これまでの風っ子砦のイメージを取入れており、淵野辺公園樹林広場の特徴を活かしている。</p>	<p>風っ子のイメージを取入れた遊具を配置しているが、オリジナル性はやや低い。</p>
<p>⑦安心感</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊具の配置や遊び方に不安感がないか 	<p>子どもに付き添いながら遊べるゆとりがある。ただし遊具の反対側が見通せない不安がある。</p>	<p>遊具の各所にスリットや穴を設ける構造としており、反対側の見通しを確保できる。</p>	<p>複数の遊具を配置することにより、子どもたちが分散して遊ぶことができ、かつ見通しを確保できる。</p>
<p>⑧耐久性</p> <ul style="list-style-type: none"> 修繕の頻度や維持管理の手間・コストがどのくらいかかるか 	<p>コンクリート製のため耐久性に優れている。</p>	<p>主要な部材が木製のためほかの材質に比べ耐久性は低い。</p>	<p>木製はほかの材質に比べ耐久性は低い、主要な部材は鋼材を用いている。</p>

オープンハウスアンケートを実施しました！！

遊具案を決定するにあたって、市民のみなさまにご意見をうかがうために、淵野辺公園樹林広場にて、「オープンハウスアンケート」を実施しました。6月8日(土)、16日(日)の2日間で**152名**の方にご協力いただきました。

アンケートではまず、提示した遊具案3案のうち「気になる遊具」を選んでいただき、次に「選んでいただいた理由」、「あったらいいな」・「遊びたい／遊ばせたい」と思う遊びの要素に関する要望について質問しご回答いただきました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



オープンハウスアンケートのようす



パネルを展示し、各遊具案の特徴やこれまでの取組み経過を説明しました。



公園に来た方々にお声がけしてご意見をうかがいました。

こんな遊具で子どもを遊ばせたい！



“運動にも利用できる遊具があるといい”
“想像力をはたらかせて遊べる遊具があるといい” などのご意見をいただきました。



そのほか、船の遊具や幼児用の遊具など樹林広場全体に関するご意見もいただきました。

遊具案 決定までのながれ

第1回 ワークショップ(平成30年12月9日)

テーマ「樹林広場の今後のあり方について」

- 現地視察、淵野辺周辺の歴史講習会
- 樹林広場の課題と今後のあり方について意見交換



第2回 ワークショップ(平成31年2月3日)

テーマ「更新する遊具の方向性について」

- 更新する遊具の方向性、遊具選定にあたり考慮すべき評価項目などについて意見交換



オープンハウスアンケート

(平成31年2月16・24日)

- 遊具選定の評価項目、遊具の方向性について現地にてアンケート調査を実施



第3回 ワークショップ(平成31年3月17日)

テーマ「樹林広場の将来像について」

- 樹林広場の将来像、更新する遊具の方向性、遊具選定の評価項目について意見交換



オープンハウスアンケート(令和元年6月8・16日)

- 具体的な遊具案について、「遊びたい／遊ばせたい」と思う遊びの要素などについて現地にてアンケート調査を実施



今後のスケジュール

今後は、既存の風っ子砦の撤去及び遊具案をもとに新たな遊具の整備などの工事を行い、令和2年春にリニューアルオープンする予定です。工事の予定及び遊具が使えなくなる期間などについては、現地などにてお知らせいたします。

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
遊具の設計・工事の手続き			整備工事				供用開始		

編集・発行

相模原市 環境経済局 環境共生部 公園課

☎ 042-707-7022

Eメール) kouen@city.sagamihara.kanagawa.jp